

滞在型温泉施設のあり方に関する研究会

少子高齢社会におけるわが国の滞在型温泉施設事業の新たなモデル構築を目標に、NPO 法人健康と温泉フォーラムの自主研究会として平成19年8月発足した。制度、プログラム、運営、施設の4分科会を設け、各テーマ別の具体的な知見や実例を調査・研究している。

1) 制度分科会:

医療費削減のため、生活習慣病の抜本的な対策に乗り出した厚労省、温泉法を所管する環境省のみならず国土交通省、経済産業省、内閣府地域再生推進室など中・高齢者の健康増進・保養・休養のため滞在できる温泉保養地の仕組みに絡む政策を俯瞰的に分析し、新たな枠組みのなかで、長期滞在型温泉施設のあり方を検討している。温泉を活用した長期滞在推進のための阻害要因などのマイナス課題とプラス課題を横断的に調査・研究し、合わせて海外のヴァカンス法や保養地法など保養地先進諸国の事例を戦後の日本の事例と重ね合わせ、具体的に日本が今後迎える超高齢社会のなかで取捨選択すべき政策課題を検証する。

2) 運営分科会:

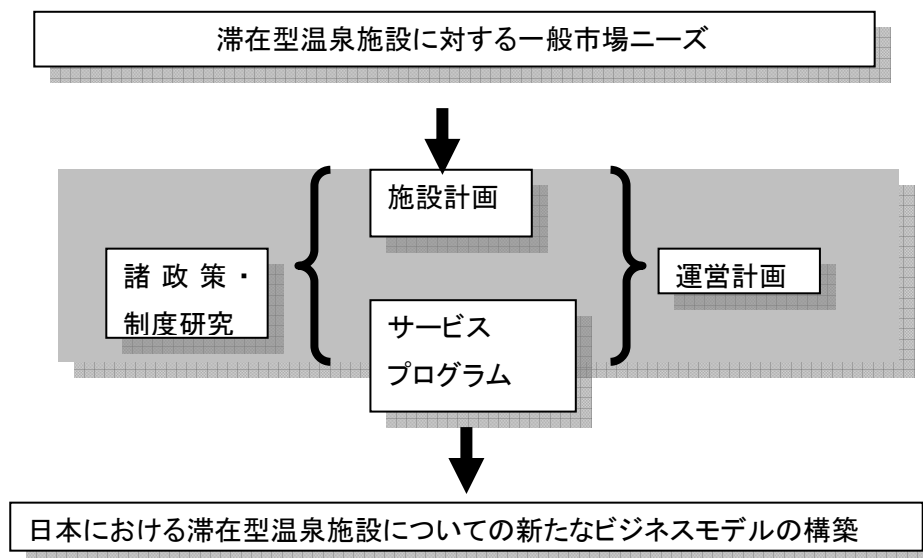
40年代の高度成長スタートとともに、日本の温泉場は、伝統的な“湯治”のイメージを捨ててしまい、宴会を主とした“一泊二食型”へとシフトしてしまった。原点は“伊豆の踊り娘”から“金色夜叉”への流れにあるのかもしれない。しかし、バブルの崩壊とともに温泉地のマーケットは団体志向、宴会志向、料理志向、濃密サービス、短期滞在志向から、個人、家族、小グループなどへシフトし、スローライフブームにより、健康志向、自然志向へと変わった。全国の温泉施設でも連泊客を増やそうと種々の挑戦がされているが、既存施設の持つ当初に投資された機能的な面での限界や、バブル時のサービスコンセプトから脱却せず、新しい利用者のニーズに対応できない状態にあり温泉地の疲弊と再生が社会的課題となった。又、バブル時の一時期、各地の温泉場に建設された会員制リゾートホテルはバブル崩壊とともに、その後の投資が続かず、新規の会員を増加させるまでにはならなかった。会員は高齢化が進み、利用率の低下などが課題となった。近年、こうした会員制リゾートホテルで新たな滞在型への取り組みを試み、大成功した事例もあり、今後滞在型へ向け、滞在型利用者のニーズの把握、施設の運営・経営として必要な資源とその活用策など具体的なビジネスモデルの研究開発が求められている。

3) プログラム・サービス分科会:

超高齢化・少子社会をむかえている現代の日本社会で温泉の保養効果を生かすには、1 週間から 3 週間程度滞在することが必要で、医療費削減を至上とする政策としてもその受け皿となる専門施設とその周辺保養資源の利活用、栄養、休養、運動など滞在保養プログラムの系統的な研究開発と実施事例の検証とその課題解決などを調査研究する。

4) 施設分科会:

超高齢社会を控え、誰にとっても安心して安全に滞在できる温泉施設の計画が急務となっている。単に内外の斬新なスパ施設の事例収集ではなく、そこで一定期間生活すること前提として、必要とされる生活利便性の整備と共に、脱日常性を目的とした癒し空間との共存についても検討していきたい。高齢者へのバリアフリー的な配慮、滞在者交流のしかけ、癒しを助長する仕組み、滞在者の健康や安全を管理するしかけと設備、自然を取り入れた環境の整備、インテリア(照明、騒音、臭い等)の工夫、遊歩道、軽運動広場などの屋外施設、グリーン・ガーデニング計画、などの各構成要素を具体的に検討することで、今後日本で必要とされていく滞在型温泉施設のモデルとなるような施設の研究を行う。



研究会委員名簿（順不同）

○ 分科会長

委員長	合田 純人（NPO 法人健康と温泉フォーラム常任理事）	制度
委員	小林 英俊（財団法人日本交通公社理事マーケティング部長）	制度○
	関口 陽一（日本経済研究所主任研究員）	制度
	渡邊 智彦（財団法人日本交通公社研究員）	制度
	吉利 煦（NPO 法人健康と温泉フォーラム専門員）	制度
	倉沢 章（別所温泉上松屋旅館社長）	運営○
	斎藤 兵治（鹿教湯温泉斎藤ホテル相談役）	運営
	三武 豊蔵（（株）エコドクター社長）	運営
	小山 芳久（（財）みずがき山ふるさと振興財団総支配人）	プログラム○
	小野 倫明（常磐興産(株)ハワイアンズウイルポート）	プログラム
	鈴木 真澄（常磐興産(株)ハワイアンズウイルポート）	プログラム
	喜田 圭一郎（ヒーリングサウンド協会理事長）	プログラム
	山崎 雄一（電器メーカー 勤務）	プログラム
	大和田 瑞乃（(株)アセンダント代表取締役）	施設○
	長塚 寿夫（デロ・リサーチ(株)代表取締役）	施設
	ハツヤレイコ（（株）ウイッドビズカンパニー代表取締役）	施設
	大國 道夫（大國道夫・都市・建築総合研究所代表取締役）	施設

連絡先

NPO 法人健康と温泉フォーラム「滞在型温泉施設のあり方に関する研究会」

住所 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木4-59-3

電話 (03)3320-8126 FAX (03)3320-0586

Mail info@onsen-forum.jp